



エドゥアール・マネ《ベンチにて》1879年 ポーラ美術館 ©ポーラ美術館



「KATAGAMI Style」展 展示風景 2012年

日時

2018年3月24日(土)

13:30 - 16:50

会場

日本女子大学 80年館A棟 5階 851室

参加無料

美術館 II

ファッション

ファッション文化研究会
2017年度
第2回研究例会



「ヨーロッパ・モード」展 展示風景 2008年 ©文化学園服飾博物館

🎀 プログラム 司会 内村 理奈 (日本女子大学)

- 13:30-13:40 研究会趣旨「ファッションと美術館Ⅱ」
新實 五穂 (お茶の水女子大学)
- 13:45-14:30 「教育プログラムとしての展覧会 — 文化学園服飾博物館での取り組み事例」
吉村 紅花 (文化学園大学 文化ファッション研究機構、元文化学園服飾博物館学芸員)
- 14:35-15:20 「美術館の展覧会と「新しさ」 — ポーラ美術館「Modern Beauty」展を通して考えたこと」
岩崎 余帆子 (ポーラ美術館学芸課長)
- 15:20-15:30 休憩
- 15:30-16:15 「美術館の展覧会におけるファッションの位置 — 「KATAGAMI Style」展を基点として」
阿佐美 淑子 (三菱一号館美術館学芸員)
- 16:20-16:50 全体討論 (質疑応答含む)
進行 : 筒井 直子 (公益財団法人 京都服飾文化研究財団キュレーター)
討論者 : 吉村 紅花、岩崎 余帆子、阿佐美 淑子

🎀 講演者プロフィール

吉村 紅花 Kohka Yoshimura

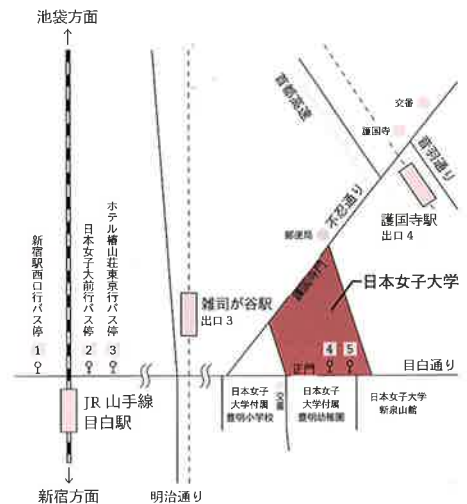
文化女子大学(現文化学園大学)家政学部(日本服装史専攻)卒業。1990年より文化学園服飾博物館学芸員。主にアジア地域の服飾を担当し、衣服を着るといった文化的な意味、また、衣服を形作る素材から染織技法、構成、着装方法など多角的に調査し展覧会を企画。日本伝統染織における技術や道具・材料の継承保存のための調査にも協力。2017年7月より文化学園大学文化ファッション研究機構所属。

岩崎 余帆子 Yoko Iwasaki

ポーラ美術館学芸課長。東京藝術大学大学院修了。専門は19世紀のフランス美術。主な担当展覧会に「ドガ、ダリ、シャガールのバレエ美術の身体表現」(2006-07年)、「コレクター鈴木常司—美へのまなざし」(2012-13年)、「モネ、風景をみる眼—19世紀フランス風景画の革新」(2013年)、「Modern Beauty—フランスの絵画と化粧道具、ファッションにみる美の近代」(2016年)。主な著書・論文に『モネと画家たちの旅』(共著、西村書店、2010年)、「帽子の女性—マネ、ドガ、ルノワール」(『西洋近代の都市と芸術 2 パリ I—19世紀の首都』、竹林舎、2014年)。

阿佐美 淑子 Yoshiko Asami

三菱一号館美術館学芸員。専門は染織を中心とした装飾美術、東西交流史。東京藝術大学大学院美術研究科西洋美術史専攻修了。レンヌ第二大学(フランス)に留学後、神奈川県立近代美術館、東京藝術大学大学美術館、北九州市立美術館を経て2010年より現職。主たる担当展覧会に、「田園讃歌—近代絵画に見る自然と人間」展(2007-08年)、「KATAGAMI Style」展(2012年)など。共著に「ファッションビジネスの文化論」(北樹出版、2014年)。



JR山手線「目白駅」より徒歩15分、バス5分

【都営バス(学05)】
日本女子大前行き(直行)
乗車 - 「目白駅前」バス停 2
下車 - 「日本女子大前」バス停 4

【都営バス(白61)】
新宿駅西口行き または ホテル椿山荘東京行き
乗車 - 「目白駅前」バス停 1 3
下車 - 「日本女子大前」バス停 5

東京メトロ副都心線「雑司が谷駅」3番出口より徒歩8分
東京メトロ有楽町線「護国寺駅」4番出口より徒歩10分